

「草刈り十字軍」精神受け継ぐ

里山保全へ竹伐採



里山で竹を伐採する参加者

きりらかネットワーク

射水

里山保全に取り組む射水市のきりらかネットワーク（山本匡躬代表）は

11日、同市野手地区西谷（小杉）の里山で竹を伐採し、中山間地の管理に理解を深め

た。

同団体は竹を炭に加工し有効活用している。県内各地で人力による草刈りを昨年まで実施してきた「草刈り十字軍」の精神を受け継ぎ、今回の活動を企画した。

約40人が参加し、旧市小杉交流セミナーハウスの裏の里山で作業した。のこぎりを使って竹を伐採した後、5層ほどに切って保管場所まで運んだ。

活動後は同団体の会員、梅本清一さんが「里山は今」をテーマに同ハウスで講演。地元で採れた野菜などを使ったバーベキューもあり、参加者が楽しい時間を過ごした。

北日本新聞 平成29年8月12日(土)